



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 福留八ム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 治彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理支援部長 (氏名) 深町 誠

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,572	1.3	189		173		186	
2020年3月期第2四半期	12,739	0.7	264		241		838	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 122百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 1,000百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	55.86	
2020年3月期第2四半期	251.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,419	4,245	27.5
2020年3月期	15,462	4,122	26.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,244百万円 2020年3月期 4,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	2.3	200		170		200		59.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,400,000 株	2020年3月期	3,400,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	62,932 株	2020年3月期	62,932 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,337,068 株	2020年3月期2Q	3,337,165 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響をうけ、日本国内においても企業・経済活動が大きく制限され非常に厳しい状況となりました。GOTOトラベルやGOTOイートなどの政府の各種政策による効果もあり、一部持ち直しの動きがみられるものの、景気回復の改善には至っておらず、個人消費においても、将来の不安からくる節約志向や経済の下振れリスク懸念が高まるなど依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、感染拡大に伴う消費行動や市場構造に変化が生じ、「巣ごもり消費」と称されるような内食需要が増大する一方、外食需要の低迷により業務用商品が苦戦している状況は続いており、先行きへの不安からくる消費者の低価格・節約志向は厳しさを増し、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、あふれる味覚をもってお客様から選ばれ続ける存在となるべく努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症対策としましては、従業員及び関係者の健康と安全を守ることを最優先とし、「F R A (福留ハム・リスクマネジメント・アクション)委員会」を適宜開催し、オフィスの分散化や衛生管理など感染リスク対策の徹底、さらにはテレビ会議等の活用など全社員に周知徹底を行い、事業リスクの最小化や事業活動の継続に取り組んでまいりました。また、今期を初年度とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」を策定し、初年度においては、「競争力向上のためのコスト構造改革」を重点施策として、最適な資源配分と業務の効率化、無駄の排除を通じた筋肉質なコスト構造への転換を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、125億72百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。利益につきましては、営業損失は1億89百万円(前年同四半期は営業損失2億64百万円)、経常損失は1億73百万円(前年同四半期は経常損失2億41百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億86百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失8億38百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、引き続き消費者の節約志向や企業間競争の激化など厳しさを増すなか、リニューアルした「花ソーセージ」のCM放映に加え、毎月100名様に商品詰め合わせセットやQ U Oカードが当たる「岡山 昂工場1周年記念キャンペーン」を実施し、販売強化を図ってまいりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の影響により、「J A S 上級あらびきポークウインナー」や「J A S 特級あらびきポークウインナー」、昨年発売いたしました「あらびきK I N G」などのウインナー類や「ボロニアソーセージステーキ」などのソーセージ類、さらには「肉厚ハンバーグ」シリーズや「炭火焼きハンバーグ」などのハンバーグ類が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。利益面におきましても、生産性の改善やコスト削減努力を継続したことなどにより増加いたしました。

その結果、売上高は58億10百万円(前年同四半期比4.2%増)、セグメント利益(営業利益)は2億19百万円(前年同四半期比86.3%増)となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費行動や市場構造の変化による内食需要の増大により国産豚肉の需要が増えたものの、外食需要低迷の影響を受け、食肉事業全体の取扱量は減少いたしました。売上高は、牛肉相場が大きく値を下げたことによる国産牛肉の売上単価の低下や、採算を重視して販売を見直したことなどにより前年同四半期を下回りました。利益面につきましては、国産豚肉の需要拡大による豚肉相場の上昇に伴う仕入れコストの増大や輸入牛肉・輸入豚肉における入船遅れの影響による物流費の上昇などにより、前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は67億61百万円(前年同四半期比5.6%減)、セグメント損失(営業損失)は1億24百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1億4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産等の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少の154億19百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円減少の60億44百万円となりました。主な要因は、現金及び預金3億43百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億81百万円増加の93億75百万円となりました。主な要因は、投資有価証券4億35百万円の増加と建物及び構築物59百万円、機械装置及び運搬具73百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少の111億73百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少の75億13百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金72百万円の増加と短期借入金65百万円及びその他流動負債90百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少の36億60百万円となりました。主な要因は、その他固定負債1億23百万円の増加と長期借入金1億11百万円及び退職給付に係る負債48百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加の42億45百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億97百万円の増加と利益剰余金1億86百万円の減少によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円減少の20億48百万円(前連結会計年度比14.4%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17百万円(前第2四半期連結累計期間は2億93百万円の資金獲得)となりました。主な要因は、減価償却費2億62百万円と税金等調整前四半期純損失1億73百万円、役員退職慰労引当金の減少額37百万円、退職給付に係る負債の減少額36百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億51百万円(前第2四半期連結累計期間は5億45百万円の資金使用)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億27百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億9百万円(前第2四半期連結累計期間は49百万円の資金使用)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出1億66百万円とリース債務の返済による支出32百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月14日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,512	2,168
受取手形及び売掛金	2,463	2,440
商品及び製品	1,050	1,052
仕掛品	48	47
原材料及び貯蔵品	267	291
その他	28	45
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,369	6,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,957	2,897
機械装置及び運搬具（純額）	975	902
土地	3,003	3,003
リース資産（純額）	127	113
その他	68	62
有形固定資産合計	7,133	6,978
無形固定資産	30	47
投資その他の資産		
投資有価証券	1,699	2,134
その他	369	366
貸倒引当金	△140	△152
投資その他の資産合計	1,929	2,348
固定資産合計	9,093	9,375
資産合計	15,462	15,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,075	2,148
短期借入金	4,623	4,558
未払法人税等	43	34
賞与引当金	165	165
その他	697	607
流動負債合計	7,605	7,513
固定負債		
長期借入金	1,372	1,260
役員退職慰労引当金	353	316
退職給付に係る負債	1,754	1,706
その他	252	376
固定負債合計	3,734	3,660
負債合計	11,340	11,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△298	△485
自己株式	△80	△80
株主資本合計	3,815	3,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373	671
退職給付に係る調整累計額	△67	△56
その他の包括利益累計額合計	305	615
非支配株主持分	0	0
純資産合計	4,122	4,245
負債純資産合計	15,462	15,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,739	12,572
売上原価	10,645	10,398
売上総利益	2,094	2,174
販売費及び一般管理費	2,358	2,363
営業損失(△)	△264	△189
営業外収益		
受取利息及び配当金	23	24
不動産賃貸料	29	29
その他	20	12
営業外収益合計	73	67
営業外費用		
支払利息	34	32
不動産賃貸費用	12	14
その他	2	4
営業外費用合計	50	51
経常損失(△)	△241	△173
特別損失		
投資有価証券評価損	27	-
特別損失合計	27	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△268	△173
法人税、住民税及び事業税	12	12
法人税等調整額	557	-
法人税等合計	570	12
四半期純損失(△)	△838	△186
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△838	△186

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△838	△186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146	297
退職給付に係る調整額	△15	11
その他の包括利益合計	△161	309
四半期包括利益	△1,000	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,000	122
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△268	△173
減価償却費	279	262
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13	△36
受取利息及び受取配当金	△23	△24
支払利息	34	32
投資有価証券評価損益(△は益)	27	-
売上債権の増減額(△は増加)	439	22
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138	△24
仕入債務の増減額(△は減少)	△50	97
その他	27	△79
小計	316	51
利息及び配当金の受取額	23	24
利息の支払額	△39	△33
法人税等の支払額	△8	△25
営業活動によるキャッシュ・フロー	293	17
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△563	△127
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
無形固定資産の取得による支出	△7	△18
その他	33	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20	△10
長期借入れによる収入	300	-
長期借入金の返済による支出	△230	△166
リース債務の返済による支出	△48	△32
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△50	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△301	△343
現金及び現金同等物の期首残高	2,738	2,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,437	2,048

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,576	7,162	12,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,576	7,162	12,739
セグメント利益又は損失(△)	117	△104	13

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13
全社費用(注)	△278
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△264

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,810	6,761	12,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,810	6,761	12,572
セグメント利益又は損失(△)	219	△124	94

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	94
全社費用(注)	△284
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△189

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。